

地域おこし協力隊の活動事例（安芸高田市）

全域

【活動期間】

令和6年7月～

【活動分野】

事業承継

【活動内容】



①事業承継の「実態把握」から始める支援

市内約780事業者にアンケート調査を実施。承継希望・検討中・未検討の割合を可視化し、商工会と連携した伴走支援につなげています。

②事業承継を“身近にする”情報発信

市広報誌でコラムを連載中。わかりやすい言葉を使うことで、身近なものとして捉えてもらう取り組みを行っています。

③「事業を分解する」新しい承継の形

事業承継を資材・機材、人材、顧客、技術といった要素に分解。廃業後の事業者から資材や機材を別の担い手へ引き継ぐ支援も実施し、地域内で価値が循環する仕組みづくりを進めています。

【ポイント】

事業承継を「地域と外部をつなぐ装置」として捉えている点が特徴。事業承継の現場で培った知見を活かし、“仲介役”として関与することで参入障壁を下げるモデルを構想。現在、都市部事業者と具体的な企画の策定を進めています。